

いながわ 特派員報告



山本 のゆり



田野 香織

肉馬場の森へ出かけよう

新年度に入り、なにかと忙しい毎日ですが、近場でお友だちや家族とハイキングなどいかがでしょうか。今回の特派員報告は「肉馬場の森」を紹介します。
▼問合せ 産業観光課（☎ 766・8709）

内馬場の森ってどんなところ？

内馬場の森は、内馬場地区の雨森山にあります。里山として整備され、平成15年の一般開放以降、町内外の多くの人が訪れ、自然とふれあったりハイキングを楽しんだりしています。春は桜の野生種エドヒガンやミツバツツジが見ごろですが、新緑、鳥のさえずり、木の実りなど、四季折々の変化が楽しめます。また、内馬場の森では、森林ボランティアグループの「猪名川町里山倶楽部」が年間を通して里山整備などの活動を行っています。

特派員の雨森山登頂記

3月某日、小雨の降る中、足首の入念なストレッチを行い、9時50分、私たちは雨森山登山口を出発しました。ガイドは里山倶楽部の高地会長、福田副会長。

登り始めてすぐの急勾配にゼエゼエと息があがります。山歩きは「小股でゆっくりと、景色を見る時は足を止めて」がよいそうです。15分ほどで第一広場に到着。ここにお手洗いがあ



第一広場



山頂をめざすなら看板のとおりそのまゝに進むのですが、せっかくなので、遊歩道「エドヒガンの小路」も散策しましょう。左に進むと、遊歩道を歩きながらエドヒガンや知明湖の眺めが楽しめます。この日エドヒガンは枝の先端にわずかにつぼみが見えるほどでしたが、3月末から4月上旬が開花のピークです。



遊歩道「エドヒガンの小路」



猪名川町里山倶楽部とは？

「里山を守り、育て、活かし、楽しみ、ひろげる」活動をしているのが、森林ボランティア猪名川町里山倶楽部です。会員は現在47人で、月4回の活動日には、不用樹木や枯木の伐採、枝打ち、下草刈り、植林など山林の手入れを行っています。今年1月には、設計から、製作、設置まで全て里山倶楽部会員で行った内馬場の森の遊歩道が開通しました。この遊歩道の名称を里山倶楽部会員から募集し、「エドヒガンの小路」と名づけられました。



「エドヒガン」って何？

エドヒガンは兵庫県の絶滅危惧種に指定されている桜です。内馬場の森やその周辺はこのエドヒガンの群生地ですが、平成23年に里山倶楽部が内馬場の森にエドヒガンの苗を植樹しました。

このエドヒガンを多くの人に知ってもらうために整備、完成したのが遊歩道「エドヒガンの小路」です。この遊歩道のそばにはエドヒガンの大木も残っており、老木と若い木の対比も素晴らしい見どころです。

通常ルートに戻り、約20分歩くと突然視界が広がります。第二広場に到着です。日生中央駅周辺や白金の住宅がすぐそこに見えます。

途中で、イノシシが体についた寄生虫などを泥にこすりつけて落とす「ヌタ場」を見たりして山頂に着いたのは10時54分。標高384mの山頂一帯は横殴りの吹雪。平地との天候の違いに驚きました。

11時過ぎに内馬場方面へ下りました。このルートは今年度、里山倶楽部の皆さんによって整備が進められているところで、いたるところに台場クヌギ（炭の原料や薪、シイタケのホダ木として昔から伐採されてきたクヌギのこと）を見ることができます。正午過ぎ、無事内馬場の集落に到着しました。

第二広場からの景色（日生中央駅・白金方面を望む）



ヌタ場

会員募集中！

◆申込・問合せ 森林ボランティア猪名川町里山倶楽部事務局（産業観光課内 ☎ 766・8709）

内馬場の森へのアクセス

日生中央駅より登山口まで徒歩約1時間。バスの場合は、阪急バス停「美山台3丁目」下車、案内板に沿って進むと登山口に到着（約40分）。※詳細は産業観光課備付けのパンフレットやホームページなどでご確認ください。



編集後記

里山倶楽部会員の皆さん、温かいおもてなしをありがとうございました。山で活動される皆さんの表情はイキイキとし、姿勢もよく若々しい印象でした。今も昔も人は山と共存しているのだと感じました。取材日ですが、自然豊かな内馬場の森へぜひ皆さんも足を運んでみてください。



サバのさばき方、体験しました！

◀▼ 3月12日、中谷中学校1年生が、社会性を身に付けるための授業の一環として「尼崎市公設地方卸売市場の人に魚のさばき方・扱い方・調理方法を教えてもらおう！」を実施しました。8人の魚のプロたちにサバを2枚におろすための細かな技などを教えていただき、おろしたサバを煮付けにするなどの貴重な体験に、真剣なまなざしで取り組んでいました。



バララット市から ローズマリーさん来町



◀ 姉妹都市のオーストラリア・バララット市役所職員で子どもや子育て関連の仕事をしているローズマリー・カルヴェルトさんが、両市町の相互理解と友好をより深める事業の一環として2月24日～3月7日まで町内で研修されました。2月26日に開催された子育て支援センターの「でまえ講座」に参加し、本町の子ども・子育てに関するサービス内容やバララット市との違いを学ぶとともに、町民の皆さんと交流を深めました。

マス釣り大会 大盛況！



▶ 3月9日、北田原のマス釣り場で、マス釣り大会が開催されました。

総勢26人が参加し、優勝者が全長71cmを釣りあげるなど、大きな盛りあがりをみせました。



「おかしいな?!」と思ったら

▲ 2月26日、差組自治会館で自治会員を対象にした、消費生活出前講座が開催されました。町消費生活相談員が町の消費生活相談窓口寄せられた事例や、高齢者の被害事例について、寸劇などで分かりやすく説明し、「おかしいな?!」と思ったら、直ぐに窓口に相談するよう呼びかけました。

公民館フェスタで楽しいひととき



▲ 3月9日、公民館で公民館フェスタが開催されました。マンドリンの演奏やコーラス、いなぼうの版画などステージ・展示の部合わせて21グループが日頃の成果を発表し、来場者たちを魅了しました。

約700点の雛飾り、桜の頃にお会いしましょう♪



◀▼ 3月11日から、春の恒例行事「静思館おひなまつり」の準備がはじまりました。

今年の静思館は、どんな風に彩られるのか…遠方から楽しみに来られる観覧者も多いこのひなまつりは、4月2～6日に開催されます。※詳細は7ページに掲載



猪名川小学校 出前コンサート



3月6日、イオンモール猪名川で、猪名川小学校6年生43人による出前コンサートが開催されました。小さい頃から一緒に学んできた仲間との最後のコンサートを見た保護者の中には、子ども達の成長に涙があふれる人もいました。

